

社会福祉系学会連合ニュース (2025年3月号)

1. ご挨拶

宇都宮 みのり (日本社会福祉系学会連合事務局長)

昨年発生した能登半島地震から1年以上が経過しましたが、いまだ復興の途上にあり、多くの方々が困難な生活を強いられています。被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い生活の再建をお祈り申し上げます。

こうした状況は、私たちに対し、学問と実践の知を結集し、支援のあり方を模索し続けることの重要性を改めて問いかけています。

日本社会福祉系学会連合は、2024年11月30日(土)にWORKSHOP「Withコロナ時代における研究に関する状況とニーズと学会活動のあり方について」をオンラインにて開催いたしました。本ワークショップは、2023年度に実施した2つのアンケート調査、すなわち「コロナ禍における学会活動に関する調査」および「Withコロナ時代における研究に関する状況とニーズと学会活動のあり方」の結果を報告し、参加者とともに今後の学会活動のあり方や研究活動の仕方について議論を深めることを目的として実施されました。

第一報告「コロナ禍における学会活動に関する調査」は、日本社会福祉系学会連合に加盟する22学会を対象にした調査(2023年10月10日～同年11月30日、16学会が回答)に基づくものであり、本アンケート調査を実施した前学会連合会長の保正友子先生(日本福祉大学)より報告がありました。調査結果からは、コロナ禍前の2019年度にはすべて「対面のみ」で開催されていた全国大会が、2020年度からの3年間にわたり「開催なし(次年度以降への延期を含む)」「オンラインのみ」「ハイブリッド」といった形式を余儀なくされていたこと、そして2023年度には対面開催が復活するに至った状況があきらかになりました。非常事態下においても、学びを止めることなく柔軟に活動を継続した各学会の取組みが具体的に報告されました。

第二報告、「Withコロナ時代における研究に関する状況とニーズと学会活動の在り方についての調査」は、社会福祉系学会連合に加盟する22学会に所属する会員を対象にした調査(2024年2月1日～同年2月29日、641件の回答)に基づくものであり、越智あゆみ先生(県立広島大学)より報告がありました。調査結果からは、コロナ禍が「生活」に与えた影響について、「大きく影響を受けた」「ある程度影響を受けた」との回答が半数以上に及んだこと、「経済面」への影響として「収入・報酬・手当の減少」「仕事が減った、なくなった」との回答が上位を占めたことなど、コロナ禍が研究者に及ぼした深刻な影響が浮き彫りになりました。また、「研究活動全般」においては、対面機会の制限、移動の制限、インタビュー調査の制限、研究・調査活動の中止などが課題として挙げられ、多くの研究者が困難を抱えたことが報告されました。

ディスカッションでは、活発な意見交換がなされました。今回のテーマは実践に携わっておられる人の関心も多く集めるものでした。参加された実践者の皆様から「大学での研究成果と実践の場で生じる問題との乖離を感じている。それらを埋め合わせる何かが欲しい」、「学会への参加や発表の場を求めている人はたくさんいる」、「このような機会は有益なので、今後も継続してほしい」等の意見が出されました。これらのご意見を真摯に受け止め、学術研究と実践現場との連携強化や各学会活動の効果的な情報提供に努めます。また、今回得られた知見を最大限に活用するとともに、災害時支援に関する知見を蓄積・活用を促進するため、次年度以降も「災害福祉アーカイブズ」事業も継続してまいります。

今後とも本学会連合は、社会福祉系学会の学会活動の質の向上と社会貢献を目指していきます。関係各位の皆様には、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2. 加盟学会の2025年度学術大会日程

本連合では、加盟学会の2025年の学術大会等の情報を集約し、各学会の日程の設定がスムーズに行われるとともに、会員の方々が計画的に学術集会等に参加できるよう努めています。学術大会等の最新情報は加盟学会より情報をいただき次第、本連合のHPに掲載いたします。以下に日程の概要をお知らせいたします。

学会名	大会情報
社会事業史学会	社会事業史学会第53回大会 大会日程：2025年5月10日（土）-11日（日） 開催場所：弘前学院大学（青森県） テーマ：東北と福祉実践 ——地域から研究方法論の具体的展開を考える
日本介護福祉学会	第33回日本介護福祉学会大会 大会日程：2025年9月6日（土）-7日（日） 開催場所：仙台大学（宮城県） テーマ：介護福祉の「シンカ」を問う ～介護福祉学の30年を振り返って～
日本家族療法学会	一般社団法人日本家族療法学会第42回大宮大会 大会日程：2025年9月5日（金）-7日（日） 開催場所：ソニックシティ（埼玉県） テーマ：未定
日本看護福祉学会	第38回日本看護福祉学会学術大会 大会日程：2025年7月5日（土）-6日（日） 開催場所：人間環境大学大府キャンパス（愛知県） テーマ：これからの地域包括ケアを支える看護福祉
日本キリスト教社会福祉学会	日本キリスト教社会福祉学会 第65回大会 大会日程：2025年6月20日（金）-21日（土） 開催場所：岡山県倉敷市 テーマ：キリスト教界のコイノニア（交わり）から生起する福祉実践 ——教会と社会福祉の協働のなかでー
日本子ども家庭福祉学会	日本子ども家庭福祉学会第26回全国大会 大会日程：2025年6月7日（土）-8日（日） 開催場所：大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス（大阪府） テーマ：教育と福祉の連携（仮）
日本在宅ケア学会	第30回日本在宅ケア学会学術集会 大会日程：2025年9月13日（土）-14日（日） 開催場所：千里ライフサイエンスセンター（大阪府） テーマ：サイエンスと人が創り出す在宅ケア
日本社会福祉学会	日本社会福祉学会第73回春季大会 大会日程：2025年5月25日（日） 開催場所：立教大学池袋キャンパス（東京都） テーマ：マンパワー不足の中の社会福祉
	日本社会福祉学会第73回秋季大会 大会日程：2025年10月4日（土）-5日（日） 開催場所：同志社大学今出川校地（京都府） テーマ：現代社会福祉学の思想的基盤—理論と実践の根源を問う—

日本司法福祉学会	日本司法福祉学会第 25 回全国大会 大会日程：2025 年 9 月 27 日（土）－28 日（日） 開催場所：龍谷大学 テーマ：未定
日本社会福祉教育学会	日本社会福祉教育学会第 21 回大会 大会日程：2025 年 9 月 6 日（土）－7 日（日） 開催場所：川崎医療福祉大学（岡山県） テーマ：実践力を備えた専門職を養成する ～個別性に着目した教育方法～（仮）
日本社会分析学会	詳細は学会 HP をご覧ください → http://jsasa.org/cgi-bin/index.php
日本職業リハビリテーション学会	日本職業リハビリテーション学会 第 52 回兵庫大会 大会日程：2025 年 8 月 22 日（金）－23 日（土） 開催場所：神戸市産業振興センター（兵庫県） テーマ：インクルーシブな社会を目指すために ～今一度、アセスメントの本質を問う～
日本精神障害者リハビリテーション学会	日本精神障害者リハビリテーション学会 第 32 回札幌大会 大会日程：2025 年 10 月 25 日（土）－26 日（日） 開催場所：札幌医科大学（北海道） テーマ：「ともにつくる」を北の大地で考える －共創社会の未来に向けて－
日本ソーシャルワーク学会	日本ソーシャルワーク学会第 42 回大会 大会日程：2025 年 7 月 5 日（土）－6 日（日） 開催場所：関西学院大学上ヶ原キャンパス（兵庫県） テーマ：インクルージョンと AOP
日本地域福祉学会	日本地域福祉学会第 39 回大会（兵庫大会） 大会日程：2025 年 6 月 28 日（土）－29 日（日） 開催場所：武庫川女子大学 中央キャンパス（兵庫県） テーマ：地域福祉における「住民自治」のあり方を問う ～地域福祉の政策化の時代における「住民自治」の意義と 実践の可能性を探る～
日本福祉介護情報学会	詳細は学会 HP をご覧ください→ https://www.jissi.jp/
日本福祉教育・ボランティア学習学会	詳細は学会 HP をご覧ください→ https://jaass.jp/
日本福祉文化学会	日本福祉文化学会第 36 回全国大会 大会日程：2025 年 11 月頃 開催場所：未定 テーマ：未定
日本仏教社会福祉学会	詳細は学会 HP をご覧ください→ http://jaswas.wdc-jp.com/~jabsws/
日本保育ソーシャルワーク学会	日本保育ソーシャルワーク学会全国大会第 11 回大会 大会日程：2026 年 2 月頃 開催場所：関東地区 テーマ：未定

日本保健医療社会福祉学会	日本保健医療社会福祉学会 第35回大会 大会日程：2025年9月頃 開催場所：決定次第ホームページに掲載予定 テーマ：決定次第ホームページに掲載予定
日本保健福祉学会	第38回日本保健福祉学会学術集会 大会日程：2025年9月6日（土） 開催場所：新潟大学（新潟県） テーマ：住民との協働による健康なまちづくり ～人口減少社会の地域課題に挑む～

※なお、上記は2025年2月時点の情報です。詳細は随時各学会HPをご覧ください。また、現地大会へご参加の際は、感染予防対策へのご協力をお願いします。

3. 加盟学会紹介（日本司法福祉学会）

社会福祉系学会連合には、現在 22 の関連学会が加盟しています。本ニュースでは、順次、加盟学会の会員の方から当該学会の近年の動向を含めた紹介をしていただきます。今回は、日本司法福祉学会について紹介させていただきます。

●日本司法福祉学会●

須藤 明（日本司法福祉学会 会長）

日本司法福祉学会は、家庭裁判所調査官を中心として 2000 年 11 月に発足しました。現在の会員数は、2025 年 2 月 28 日現在で 350 名（正会員 337 名、学生会員 9 名、名誉会員 4 名）です。大学の研究者、社会福祉士、弁護士、司法機関の公務員など幅広い職種で構成されている学際的性格を持った学会です。

司法福祉学とは、司法制度と福祉サービスを連携させ、犯罪者や被疑者、被害者、その他の関係者が適切な支援やサービスを受けられるようにすることを目的とした「法と臨床」の実践的学問です。設立当初は、その経緯から少年司法を中心として、司法システム内における福祉的实践と制度改革が主な研究対象でした。しかしながら、犯罪に至った高齢者や知的障害者等に対して、伝統的な刑事罰だけでは不十分であり、犯罪の背景にある様々な社会的躰きを解決していくための支援が必要であるという認識から、司法と福祉の連携が模索されるようになります。そのため、現在の刑事施設においては、福祉専門官の配置施設数が 58 庁（刑務支所を含む）、社会福祉士の配置施設数が 67 庁、精神保健福祉士の配置施設数が 8 庁、高齢受刑者等に対し、介護福祉士が 8 庁、介護専門スタッフが 40 庁となっており（令和 5 年版犯罪白書）、社会復帰する際の連携に力を入れています。他方、弁護士の依頼を受けた社会福祉士が被告人の更生支援計画書を作成し、それが裁判の資料として活用されるなど、福祉の観点から司法システムに働きかけるアプローチも行われてきました。その成果もあって、令和 5 年 3 月 28 日に「刑事施設における更生支援計画書の活用について」という法務省局長通知で、受刑者の社会復帰支援等を実施する上で更生支援計画書が有益な情報になることが示されたのです。

本学会が標榜する「司法福祉学」は、ソーシャルワークのグローバル定義になるような実践的かつ社会変革につながる運動論的性格を持っていると考えられますが、そのためには、前述したような司法システムの内外からの取組みが重要になってきます。司法福祉学の対象は、刑事司法のみならず、離婚・扶養・高齢者や児童の虐待・介護・後見問題等にも広がります。こうした課題に対しては、特定の専門家だけではなく、多様な専門家による協働的アプローチが必要であり、本学会が、その学際性を活かして司法福祉学の科学性と実践力を高めていく場になればと考えています。とりわけ、パターンリズムが根強くある伝統的司法と自己決定に基づく支援を基本とするソーシャルワークをどのように統合していくのか、大きな課題です。

日本司法福祉学会ホームページ

<https://jslfss.org/>

4. 2025年度補助金制度のご案内

2017年度に創設された補助金制度を2025年度も実施いたします。なお、2021年度より補助の対象を講師（非会員）の旅費に限定せず、「必要となる経費の一部」に拡大することが総会で承認されました。詳細につきましては日本社会福祉系学会連合 HP の下記ページをご覧ください。

→ <http://jaswas.wdc-jp.com/about/subsidy.html>

5. 加盟学会一覧

社会事業史学会 日本介護福祉学会 日本家族療法学会 日本看護福祉学会
日本キリスト教社会福祉学会 日本子ども家庭福祉学会 日本在宅ケア学会
日本司法福祉学会 日本社会福祉学会 日本社会福祉教育学会 日本社会分析学会
日本職業リハビリテーション学会 日本精神障害者リハビリテーション学会
日本ソーシャルワーク学会 日本地域福祉学会 日本福祉介護情報学会
日本福祉教育・ボランティア学習学会 日本福祉文化学会 日本仏教社会福祉学会
日本保育ソーシャルワーク学会 日本保健医療社会福祉学会 日本保健福祉学会

日本社会福祉系学会連合事務局
日本社会福祉学会事務局内
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5
アカデミーセンター
TEL:03(6824)9385 FAX:03(5227)8631
Mail: union-jssw@kokusaibunken.jp
<http://jaswas.wdc-jp.com>